

設置説明書 PF-P450



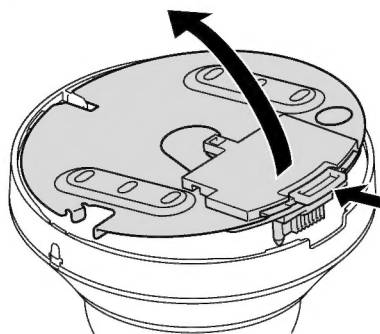
この設置説明書をよくお読みのうえ、正しく設置してください。また、ご使用前に別冊の取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

お守りください

- 静電気による破損を防ぐため、本機に触れる前に身近な金属（ドアノブなど）に手を触れて、身体の静電気を取り除いてください。
- 本機を設置する際は、天井や壁などに対する防水処置を正しく行ってください。
- 本機の総重量を考慮して、平面で耐久性がある天井や壁をお選びください。
- 本機は-10℃～50℃の環境に設置してください。（結露なきこと）

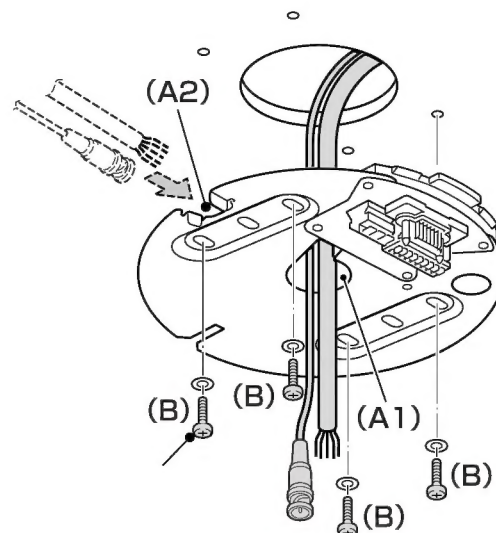
1. ベース板を天井または壁に取り付ける

- 1 付属のパターンシート（取扱説明書41ページに印刷）を使って、天井または壁に取り付けたい位置を決め、2箇所または4箇所に印を付けてから取付け穴をあける。
- 2 天井または壁から配線用ケーブルを引き出しておく。
- 3 ベース板をカメラユニットからはずす。



押しながら持ち上げカメラユニットからベース板を外す。

- 4 配線用ケーブルをケーブル穴（A1）に通す。
天井面や壁面に配線する場合は、誘導口（A2）の間からケーブルを通す。
- 5 天井または壁に開けておいた取り付け穴（2箇所または4箇所）とベース板の取り付け穴を合わせて、ワッシャーとネジ（B）でしっかりと固定する。




ベース板を天井に取り付ける場合は、ベース板の内側にあるシールの（↓）が、監視方向にくるように取り付けてください。

ベース板を壁に取り付ける場合は、刻印の（↓）が垂直になるように取り付けてください。

ネジ（B）の長さ：35mm以上
ネジ（B）の直径：3.5mm～5.0mm

取り付けネジは確実に天井または壁に埋め込んでください。
ネジ穴が浅すぎると落下の恐れがあります。

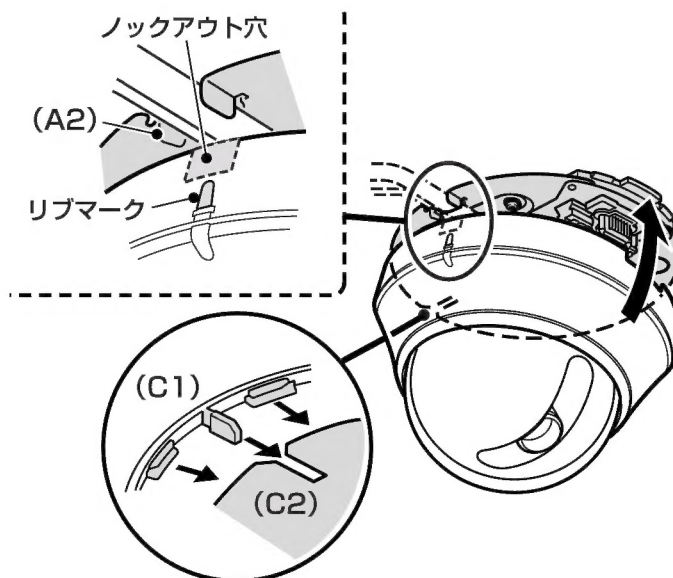
2. ケーブルを接続する


 接続方法は「接続」をご参照ください。

3. ベース板にカメラユニットを取り付ける

- 1 カメラユニット裏のツメ(C1)とベース板の差し込み口(C2)を合わせ、カチッと音がするまでカメラユニットを押し込む。

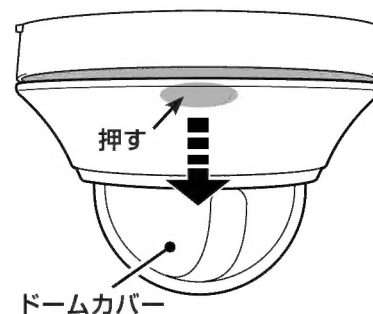
誘導口(A2)の間にケーブルを通す場合は、リブマークの近くのノックアウト穴部分を、ペンチ等で2-3回折り曲げて切り取り、その誘導口に通します。



 しっかり固定されているかよく確かめてください。

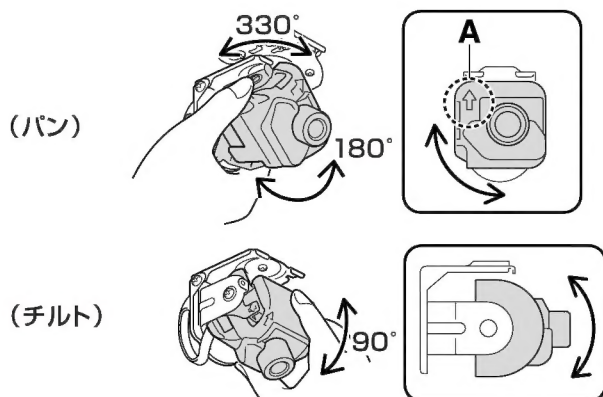
4. ドームカバーを外す


- 1 ドームカバーは、図のようにリブマークと反対側のキャビネット部分を押しながら、矢印方向に取り外す。



5. カメラの映像を確認する

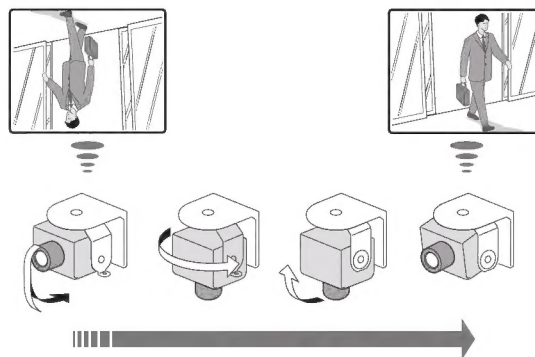
- 1 図に示した部分を持ってレンズを操作し、画角を決める。



 カメラ映像が上下逆さまにならないように、カバーに刻印された(A)の示す方向を上にしてください。

壁に取り付けた場合:

映像が上下逆さまになります。正方向にするために、レンズを下に向け、矢印の方向に180°回転させ、レンズを戻してください。このとき、フラットケーブル(FFC)を傷つけないようご注意ください。



5. カメラの映像を確認する(つづき)

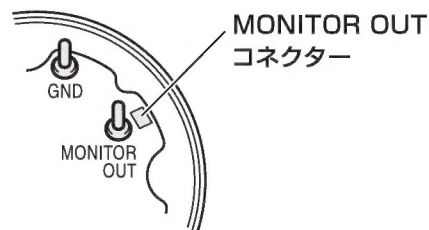
2 設定画面を使ってカメラの調整を行う。

- 別冊の取り扱い説明書をご参照ください。

⚠ 極端に明るい照明などの光源下では、垂直もしくは水平方向にスミア(帯状のノイズ)が発生することがあります。このような場合、モニターを見ながら、照明の角度を変えるなどしてください。

✕モ 手元で映像をモニターすることができます。

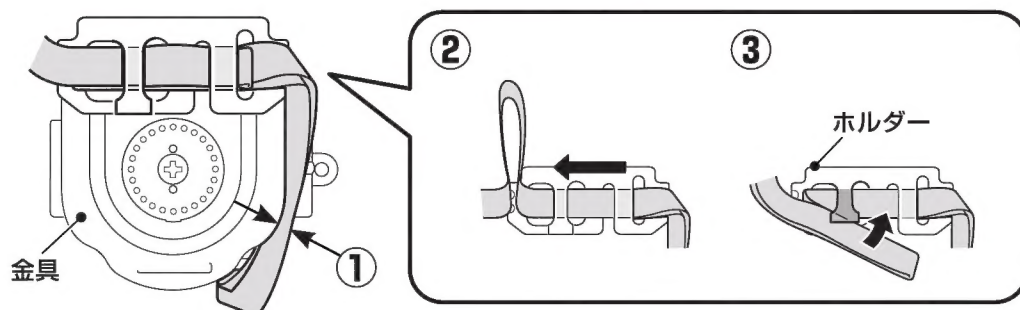
- 基板上のMONITOR OUTピンとGNDピンをワニ口クリップで接続してください。また、MONITOR OUTコネクターを使ってモニターすることもできます。



6. ドームカバーを閉める

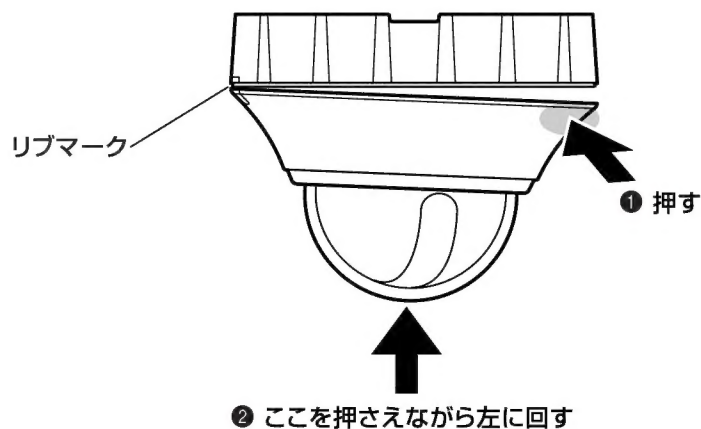
1 フラットケーブル(FFC)を整形する。

- ① 図のようにケーブルを金具に引っ掛ける。
- ② たるまないよう矢印の方向に引っ張る。
- ③ 余ったケーブルをたるみがなくなるまで折りたたみ、ホルダーのスリットに挟む。



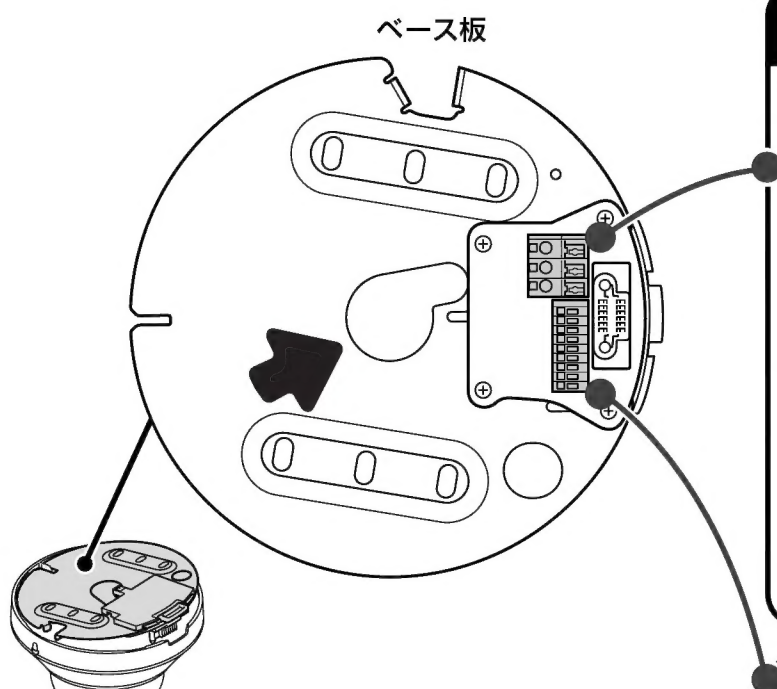
2 ドームカバーを閉める

- ① ドームカバーは、リブマーク部分の突起部分をハウジングの四角形の穴に合わせ、図の部分をかちッと音がするまで押す。
- ② ドームカバーのレンズ窓からレンズが完全に見えるまで、手でドームカバーを押さえながら左に回し、調節する。



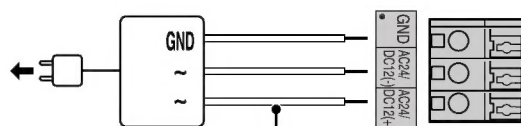
接 続

⚠ すべての接続が完了するまで電源を入れないでください。



電源を接続する

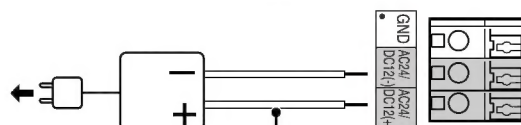
■ AC 24Vの場合



18AWGより太いケーブルをご使用ください。

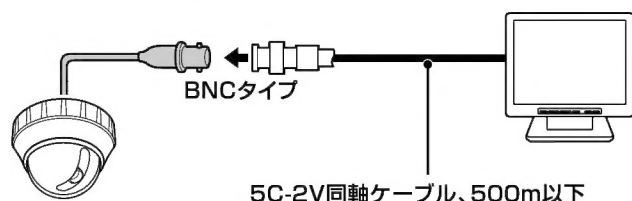
■ DC 12Vの場合

- 極性+、-が正しいことを確認してください。



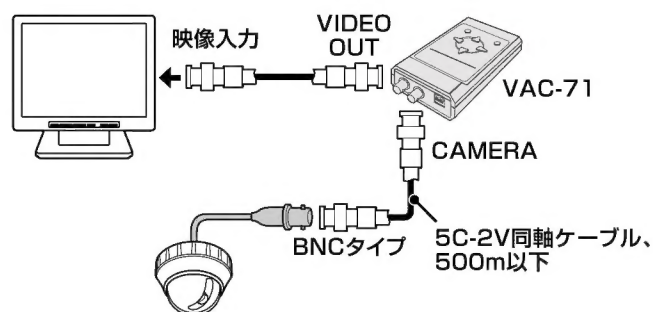
18AWGより太いケーブルをご使用ください。

モニターを接続する



- ⚠ 接続する機器間の距離が短い場合は、3C-2V同軸ケーブルも使えますが、配管や空中配線には使用しないでください。
使用するケーブルが上記と異なると、映像や同期信号が減衰して正しく伝送されません。

- カメラコントロールユニットを使う (VAC-71:別売)
調整や設定時に本機を遠隔操作することができます。
VAC-71の取扱説明書をご参照ください。



- 設定や調整が完了したら、必ずカメラコントロールユニットは、取り外してください。
また、ケーブル補償器や映像分配装置を使用した場合、制御の保証はできません。

この説明書は、古紙配合率100%、白色度70%の再生紙を使用しています。

RO
1AC6P1P3218--
L5BK2/JPEL(O507KR-SY)

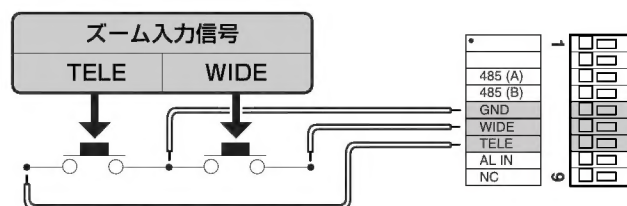
アラーム信号を入力する

詳細は別冊の取扱説明書「アラームを設定する」(P30)をご参照ください。



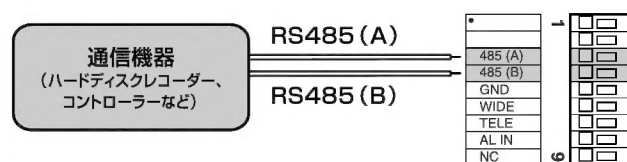
ズーム信号を入力する

WIDE (広角) / TELE (望遠) を調節します。



カメラを遠隔操作する通信機器に接続する

■ RS-485を使用する場合



■ 同軸ケーブルを使用する場合

